新型コロナウィルス(COVID-19,SARS-Cov-2)に対する認識の共有

新型コロナウィルスに対しての院内スタッフの認識を共有しておこうと思います。

長くなりますが、一目一読をお願いします。

<新型コロナウィルスそのものに対して>

1. 感染経路は基本的に“飛沫感染”

エアロゾルや空気感染等も言われておりますが、名古屋市蒲郡のパブでの感染のように感染者の隣に長時間居たとしても感染していない事例が多々見受けられることから、「感染者の体液（汗を除く）が付着した物に触れ、その状態で自身の粘膜に接触することで感染する」という感染経路が最も信憑性が高いと思われます。（以下、この感染経路を“飛沫接触感染”と特別に呼称します）

もちろん、ちゃんとしたデータが無いためエアロゾルや空気感染しないとは言えません。しかし、現状での感染者の報道やウィルスが物に付着後長時間不活化しないという情報を参考にする限りでは、飛沫接触感染の可能性が高いです。

1. 基本的な感染対策は“手洗い”

よって、「常に自分の身体にウィルスが付着している可能性」を念頭に置き、手洗いの徹底が感染対策に効果があると考えられます。色んな物にウィルスが付着しているという前提で、何かに触れたらその手で首から上（特に口と眼）は触らない。手洗いによる自身への感染を防ぐことが、感染の拡大を防ぎます。まだ水は冷たく手が荒れる時期ですが、正しい手洗いをよろしくお願いします。

また、医療現場では手洗い後のアルコール消毒が必須となっています。一般生活ではちゃんとした手洗いかアルコール消毒のどちらかであれば充分です。

<ウィルスによる感染防護に関して>

1. マスク・グローブ・フェイスガード（メガネ・ゴーグルを含む）

歯科治療は患者との距離が近くなり、かつ切削片が混じった水はもちろん切削片そのものも顔面に飛んできます。顔面には口と眼という粘膜組織がありますので、歯科治療は感染しやすい環境にあると言えます。

以上から、術者・介助者はマスク・グローブ・フェイスガード（メガネ・ゴーグルを含む）の使用を積極的にお願いします。特にマスクとフェイスガード（メガネ・ゴーグルを含む）は粘膜への直接的な感染を防ぎます。

1. 口腔外バキュームの使用

上記に記したとおり、切削片が混じった水はもちろん切削片そのものが飛び散っています。それを少しでも飛散させないように、処置中は患者の顔の近くに口腔外バキュームを使用するようにしましょう。４番ユニットのみ口腔外バキュームが使用しづらいですが、その際はやむを得ないです。

1. 治療器具の滅菌とユニットの消毒